ネットコミュニケーション

情報環境論(9)

2012/12/06

ネットコミュニケーションの手法

手法	即時性	相手	検索性	例
Blog	×	多い	◎	So-netブログ, アメブロ
SNS	△	多い	○	Facebook, mixi, Google+, Twitter
電子メール	△	少数	△	GMail, Yahoo!メール
IM	○	1〜少数	△	Skype, Facebook, Google Talk
IP電話	◎	1	×	Skype
テレビ電話/会議	◎	1〜少数	×	Skype, Google+ Hangouts
ストリーミング放送	◎	多い	△	YouTube, Ustream

マルチメディア（multimedia）

- メディア ＝ 媒体（情報の伝達方法）
  → マルチメディア ＝ 複数の媒体を利用

- コンピュータにおけるマルチメディア
  → 文字だけではなく音声や動画による伝達
  ✓ インタラクティビティ（対話性）が必要という考えもある

Skype

- インターネット電話（もしくはボイスチャット）アプリケーション
  → IP電話とは異なる
- ビデオ電話（もしくはビデオチャット）も可能
  → 有料オプションで複数名でのビデオ電話も可能
- Peer-to-Peer（P2P）
  → 中心となるコンピュータはいない
  ＝ 誰のコンピュータでも中継コンピュータとなる可能性がある

Google+ Hangouts

- Google+の機能として提供されるビデオ通話システム
  → 標準でグループビデオ通話機能が提供されている

YouTube

- 動画共有サービス
- ファイル容量2GB，長さ15分29秒までの動画を共有
  - ✓ 申請によっては容量20GB，長さ無制限に変更可
- アップロードできる動画はMPEG4-AVC/H.264など

Ustream

- 動画中継サービスもしくはライブストリーミング動画共有サービス
  ✓ 動画中継の配信がサービスの中心 ⇔ YouTube
- Ustream Producerを利用してパソコンから配信可能